

「平成20年度大気環境保全活動功労者表彰」受賞
～新日本石油基地と新日本石油精製大分製油所が受賞～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、当社グループの石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)の大分製油所(所長:甲斐 康信、以下「大分製油所」と原油中継備蓄会社である新日本石油基地株式会社(社長:淵脇 哲朗、鹿児島県鹿児島市、以下「新日本石油基地」)は、「平成20年度大気環境保全活動功労者表彰」を受賞しましたのでお知らせいたします。

「大気環境保全活動功労者表彰」は、環境省が主催する大気汚染防止推進月間行事の一環として大気汚染、騒音・振動、悪臭の防止等、大気環境の確保に係る分野において貢献した個人や団体を表彰するもので平成13年度からスタートした制度です。今回、2件が選出されましたが、当社グループとしては初めての受賞となります。

大分製油所は大分臨海工業地帯で最初に操業を開始した九州唯一の製油所として創業以来一貫して環境保全に努めてきたことや、大分県で唯一の液化天然ガススタンドの設置やベンゼン除去装置の早期導入等、環境保全に対する先取的な取り組みが評価されました。

また、新日本石油基地は、臭気問題の緩和とVOC(揮発性有機化合物)削減および排出ガスをエネルギーとして有効利用することを目的として、日本で初めて原油タンカー排出ガス処理設備を建設しました。この設備により従来排出していたVOCを95%以上削減するとともにエネルギー(原油換算:約10,000KL)として有効利用することが可能となったことに対し、環境対策への先駆性が評価されたものです。

当社グループは、経営理念の中に「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げ、今後も地球環境保全に努め、サステナブル(持続可能)な社会の創造に貢献してまいります。

以上